

事業番号	事務事業名	鏡野町体育協会補助金			所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
06565	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり		係名	体育振興係	担当者・シート作成者	山本 翔大
	施策名	34	生涯スポーツの推進		根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町体育協会の事務局を担う。総会の開催、町体協所属の専門部への補助金交付、大会案内、大会結果報告、体協ニュース発刊を行う。	町民がスポーツに親しみ、スポーツ活動を通じての健康と交流を促進するため、体育協会に活動支援として補助金交付を行ってきた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 所属専門部数	人	見込 実績	12 12	12 13	12 13	13	13
イ	イ 会員数	人	見込 実績	1,100 931	1,100 867	1,100 864	900	900
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 各種スポーツの底辺拡大を図り、住民の健康を維持してもらう	ア 延べ大会参加者数	人	目標 実績 達成率	2,600 3,012 115.8%	2,600 1,764 67.8%	2,600 876 33.7%	2,600	2,600 33.7%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 役員会、総会の開催	ア 会議回数	回	目標 実績 達成率	7 11 157.1%	7 7 100.0%	7 5 71.4%	7	7 71.4%
イ 主管大会の開催	イ 大会開催回数	回	目標 実績 達成率	30 31 103.3%	3 24 800.0%	30 15 50.0%	30	30 50.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 10 教育費	項 07 保健体育費	目 01 保健体育総務費	大事業 03	中事業 01	予算上の事業名 鏡野町体育協会補助金	事業番号 06565							
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,964	1,964	1,814	1,864	1,864	-150	一般財源	1,847	1,814	1,814	1,864	1,864			
合計	1,964	1,964	1,814	1,864	1,864	-150	合計(A)	1,847	1,814	1,814	1,864	1,864	0		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2			
	延べ業務事務時間						200	200	200	200	200	200			
	人件費計(千円)(B)						676	700	669	670	670	670	-31		
最終予算額		1,814 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		2,523	2,514	2,483	2,534	2,534	-31			
主な 支出事業内容 (予算)	補助金						1,814 千円	主な 支出事業内容 (決算)	補助金						1,814 千円

事業番号	06565	事務事業名	鏡野町体育協会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
従来よりスポーツ活動支援義務のため補助金を交付してきたが、財源の行政依存からの脱却と会計の透明化を推進してきた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
体協所属各部の活動費の見直し、明確化を行うことで、各部内の運営が円滑に行われるようになった。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
現段階では、交付額の維持を望む声が多い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	地域社会におけるスポーツ振興推進の必要性に変化はなく、体育協会への活動支援は必要である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	従来からの補助金のあり方を見直し、体育協会活動で公共関与部分の限定化を図る必要があるが、スポーツ振興を全体的に推進するためには町費の投入が必要である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	町民が主体で構成する団体であり、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	体育協会活動の改革をさらに進めることにより活動全体に対する財政支援結果の向上に余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	体育協会の活動停止は、各種スポーツ活動・大会開催を効果的に行う上で大きな損失となり、個別対応件数の増加による行政事務量の増加を招く。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	効果的にスポーツ人口の増加を図るために、総合型スポーツクラブの活動とお互いに補完・協力関係が可能となるよう調整することで、全体としてのスポーツ人口の増加を図ることが可能である。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	活動を明確化するとともに、これに伴う自主財源確保の徹底を図ることで行政依存割合の低減が可能となり、事業費削減が可能である。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	目的の曖昧な会議の開催を省くなど、協会運営の効率化を進めており、業務時間の削減余地はほとんどない状況である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	体育協会の活動はスポーツ振興に結び付いており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	全体的な事業方針や予算配分の自主決定など公共関与の縮小努力を継続することで、傘下各部の財政透明性が大幅に向上した。引き続き自主的な会議の開催、運営を行なうことで事業費・人件費の削減に努める。また、総合型地域スポーツクラブと連携することにより、地域社会における健康維持への成果向上も見込まれる。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 今後も自主財源確保と透明性確保を維持しつつ、運営の公共関与の度合いを減少させていくとともに、地域社会の重要な構成団体として、スポーツ活動を行う人口の拡大や後継者育成にも力を注いでいく必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
地域社会の少子高齢化が進み、各部の部員数や活動量も減少傾向にあるので、組織力の低下を極力避けるための方法を考える必要がある。																									